

城南中学校区 小中一貫教育だより

咲かせよう 学校・地域に 豊かな心を

2019 年(令和元年) 4月

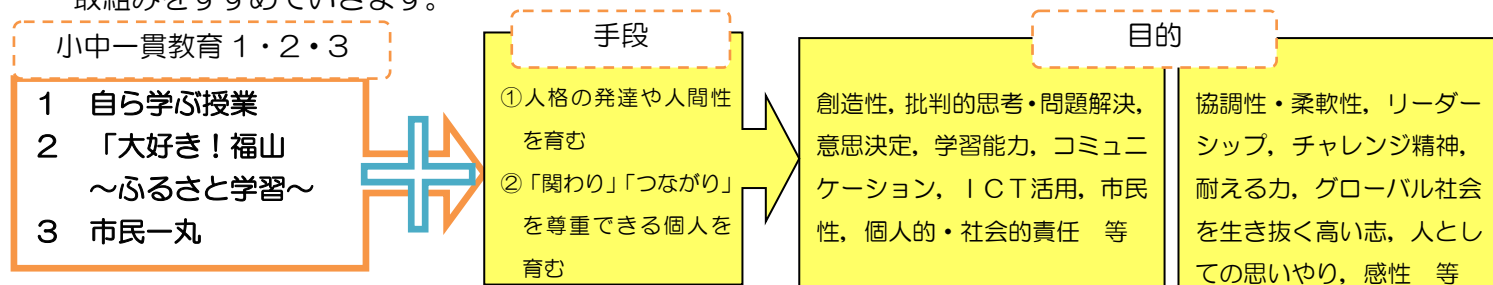


城南中学校区（城南中学校・南小学校・川口小学校・多治米小学校・川口東小学校）

福山市の小中一貫教育 ～福山 100N E N 教育～

福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。

子どもたちが生きる将来の社会は、少子高齢化・人口減少・グローバル化・情報化などが進展し、変化の激しい社会と言われています。その社会をたくましく生きる子どもたちには、「確かな学力・豊かな心・健やかな体」などの「生きる力」が必要です。これからの小中一貫教育は以下に示すキーワードを活用し取組みをすすめていきます。



城南中学校区の小中一貫教育

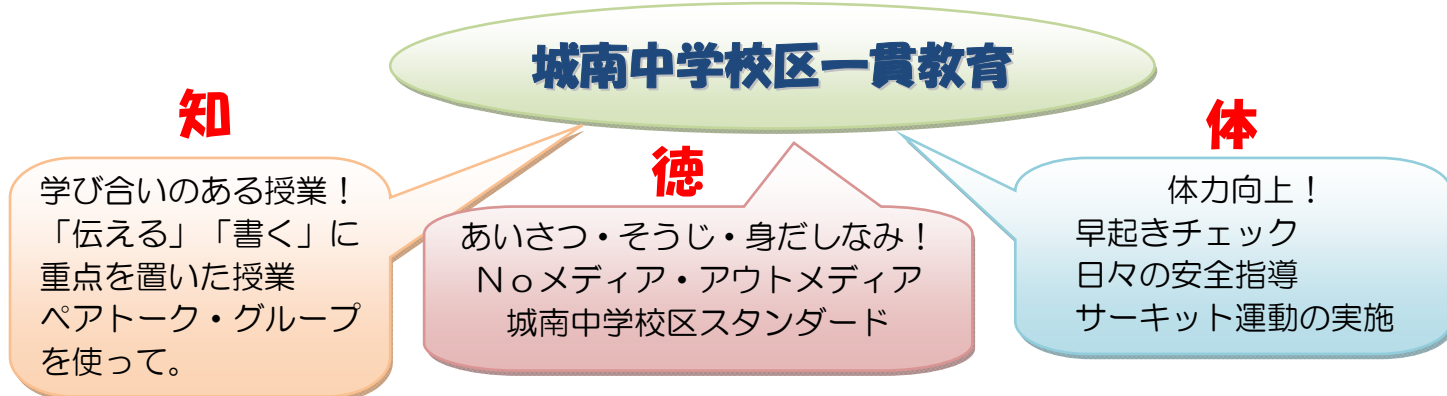
1 城南中学校区のめざす子どもの姿

「書く」活動と「伝える」活動を位置づけた授業の中で、主体的に学び合い、基礎的な内容を習得し、活用できる「考動力」を身に付けた児童生徒

2 めざす子ども像の実現のために

城南中学校区（城南中、南小、川口小、多治米小、川口東小）では児童生徒の共通の課題から、中学校区のめざす子ども像の実現をめざしています。

- (1)「書く」「伝える」授業づくりのために合同で話し合い、授業力アップをめざしています。
- (2)中学校も含めた9年間を見通して、つけておきたい学習や生活の力の基準（城南中学校区スタンダード）をつくり、4つの小学校が足並みをそろえて子どもたちを育てています。



城南中学校区小中一貫教育の具体的な取組

1 城南中学校オープンスクール・校区あいさつ運動

城南中学校・南小学校・川口小学校・多治米小学校・川口東小学校の6年生が中学校の授業を受けます。また、後半では部活動を見学したり、実際に体験したりできます。中学校の雰囲気を感じることが出来ます。

11月には校区小中学校で児童会と生徒会が連携し地域の方と一緒にあいさつ運動を行います。中学校の先輩が後輩である児童と一緒に大きな声であいさつ運動を行い、気持ちの良い声が響きます。



城南中オープンスクール



校区あいさつ運動

2 学力向上推進地域事業（小・中学校課題発見・解決学習推進プロジェクト）

平成30年度より新たに広島県教育委員会の指定を受け、本事業を行っています。子どもたちの主体的な学びを創造していくために、城南中校区全体で「書く」「伝える」活動を中心に取組を進めています。

研究主題 「義務教育9年間の系統的な学びをつくる研究」
～【書く・伝える】から考動力をはぐくむ授業づくり～

「習得」の学習活動の工夫

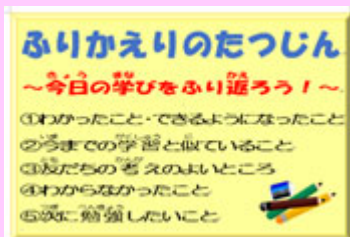
「書く」活動

○考えを書かせる工夫

- 導入の工夫をする。
- ねらいに迫る発問を精選する。
- 自分の考えを書く時間を確保する。

○振り返りの充実

- 振り返りの視点を提示する。



「伝える」活動

○意図あるペアトークの設定

【ペアトークの目的】

- 自力解決のヒントにする。
- 自分の考えをより確かなものにする。
- 自分の説明が相手にうまく伝わるか吟味する。
- 共有した説明方法を習得する。



ペアトークの達人

- レベル①** 相手に考えを伝える。
(理由をつけて)
- レベル②** 相手の考えに反応する。
(考えのよい所・ちがう所・同じ所・自分の言葉で言い換えて)
- レベル③** 質問をする、答える。
(どうして？どこからどう考えたの？)
- レベル④** 2人の考えをまとめて発表する。
(この早さで発表できた、早さが良かったことを褒める。)

学習習慣の定着・家庭学習の充実

○城南中学校区スタンダードの設定

校区スタンダード	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中1	中2	中3
家庭学習時間	20分	30分	30分	40分	50分	60分	90分	120	150
	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上

○No メディアデーの実施

- 城南中学校の定期試験期間中に校区一斉で実施する。

○放課後学習会の実施

- 学力の定着や家庭での学習環境に課題のある児童生徒を対象として、放課後や長期休業中に実施する。

個に応じた指導の充実

○個別の指導計画の作成

- 全教職員が個別の指導計画を作成する。

○家庭教育支援アドバイザーの活用

- 個別の指導計画をもとに、家庭との連携を図り、家庭学習の習慣化を促す。

○構造的な板書

- 児童生徒の思考過程が分かる板書計画を作成する。

○ヒントカード

- 児童生徒のつまずきに応じたヒントカードを作成する。

